

## 地域未来交付金（デジタル実装タイプ）事業実施状況及び効果検証について

採択年度	番号	TYPE	事業名
令和8年度	1	TYPEA	マイナンバーカードを活用した住民へのデジタル通知サービス導入事業
令和8年度	2	TYPEA	公共施設予約システム連携機能構築事業
令和8年度	3	TYPEA	健康アプリを活用したウォーキングによる健康づくり事業

# マイナンバーカードを活用した住民へのデジタル通知サービス導入事業

担当： 総務課DX推進係

事業開始年度	令和8年度			
事業概要	マイナンバーカードと連携したスマホアプリを活用して、住民に対して、町からの通知をデジタルで届けるサービスを導入する。町民一人一人に合わせた固有の情報をプッシュ通知することにより、「わかりやすい通知」「確実な通知」「速やかな通知」を実現する。			
具体サービス	<p>【プッシュ型デジタル通知サービス（SmartPOST）】</p> <p>（住民側）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンに「xIDアプリ（無料）」をダウンロードし、マイナンバーカードによる本人確認を実施した上でアプリの必要事項を設定することで、以後、町が発信するデジタル通知を受信することが可能になる。</li> </ul> <p>（行政側）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル通知は、対象者にとって、個別に必要な情報を「プッシュ型」で届けることができる。</li> <li>・開封レベルも把握でき、住民への確実な通知につながる。</li> </ul>			
交付対象事業費（当初）	2,008,000円			
交付金額（事業費の1/2）（当初）	1,004,000円			
KPI（指標）	目標値（上段）			直近のKPIについて 【「KPI達成」の場合】達成のための取組内容や工夫及び次年度達成に向けた取組 【「KPI未達成又は未計測」の場合】達成（計測）できなかった理由及び次年度達成に向けた取組
	実績値（下段）			
	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
デジタル通知した件数	460	950	1,340	事業実施中
デジタルを活用した行政サービスが充実していると思う町民の割合	75.0	77.5	80.0	

# 公共施設予約システム連携機能構築事業

担当： 都市経営課都市経営係

事業開始年度	令和8年度			
事業概要	地域集会施設の利用者は、空室確認・使用申請・支払いなど施設利用までに何度も管理人（地域住民等が担う）や役場に連絡し、訪問する必要がある。 予約システムの導入により使用申請の一部はオンライン化した。更にキャッシュレス機能及びスマートロック機能を付加し、施設の予約、支払い、使用までを利用者のシステム操作のみで手間なく完結させる。			
具体サービス	【キャッシュレス決済サービス】 使用料のオンライン決済による利便性向上 管理人（地域住民等が担う）の料金徴収業務の負担軽減 ≪地域集会施設 全31施設≫  【スマートロックサービス】 施設利用者の利便性向上 管理人（地域住民等が担う）の施設開閉業務の負担軽減 ≪地域集会施設 3施設≫			
交付対象事業費（当初）	17,116,000円			
交付金額（事業費の1/2）（当初）	8,558,000円			
KPI（指標）	目標値（上段）			直近のKPIについて 【「KPI達成」の場合】達成のための取組内容や工夫及び次年度達成に向けた取組 【「KPI未達成又は未計測」の場合】達成（計測）できなかった理由及び次年度達成に向けた取組
	実績値（下段）			
	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
キャッシュレス利用割合（31施設）	20	40	50	事業実施中
スマートロック利用割合（3施設）	25.0	50.0	75.0	
地域集会施設利用増加割合（31施設）	100.0	101.0	102.0	
地域集会施設利用増加割合（3施設）	100.0	101.0	102.0	

# 健康アプリを活用したウォーキングによる健康づくり事業

担当： 健康福祉課保健推進係

事業開始年度	令和8年度			
事業概要	働き盛り世代、健康無関心層の取り込みを目的に健康アプリを導入し、手軽にできるウォーキングによる健康づくりを推進する。ウォーキング等により自動付与されたポイントを、本町商店街で利用できる電子地域通貨に交換し、商店街への誘客促進・地域内経済循環に繋げる。			
具体サービス	<p>現行の事業では、健診受診や健康教室参加時に取り組んだ場合、都度健診会場等にて紙カードへスタンプを押印し、月2回のポイント交換日に来庁による電子地域通貨への交換を実施していたが、健康アプリを導入（事業のICT化）することによりポイントの自動付与および電子地域通貨への交換がすべて健康アプリ内で行えるようになり、住民の利便性が向上し、働き盛り世代の利用増が期待できる。</p> <p>【健康アプリ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩数、特定健診の受診、運動イベントの参加等に応じたポイントを付与</li> <li>・健康情報や生活習慣改善に関する情報配信</li> </ul>			
交付対象事業費（当初）	4,369,000円			
交付金額（事業費の1/2）（当初）	2,184,000円			
KPI（指標）	目標値（上段）			直近のKPIについて 【「KPI達成」の場合】達成のための取組内容や工夫及び次年度達成に向けた取組 【「KPI未達成又は未計測」の場合】達成（計測）できなかった理由及び次年度達成に向けた取組
	実績値（下段）			
	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
健康アプリ登録者数（累計）	333	463	593	事業実施中
健康アプリ利用者の健康意識の向上	75.0	77.5	80.0	
健康アプリ利用者の満足度	75.0	77.5	80.0	